

トピックス

環境保全監視協議会委員の方々が女川原子力発電所をご視察されました。

8月19日(火)に、環境保全監視協議会[※]委員の方々が女川原子力発電所をご視察されました。

当日は3号機その他、環境放射能測定センターや放水口モニタなどをご視察いただき、当発電所の取り組み状況などについてご確認いただきました。

当発電所は今後も安全・安定運転に向けた取り組みを着実に実施してまいります。



▲3号機などをご視察いただきました。

※環境保全監視協議会とは、発電所周辺の環境の安全を確認するため関係自治体との協定に基づき設置された協議会で、学識経験者、県職員、県議、女川町・石巻市の首長・議会議長、漁業関係者などで構成されています。会議(年4回)の結果は宮城県ホームページや新聞折込で公表されています。

トピックス

小学生のための「ASIMO先生のなるほどエネルギースクール」を開催しました。

当社では、8月16日(土)～17日(日)に石巻専修大学において開催された「青少年のための科学の祭典」の中で、電気や環境、放射線を学べるブースを出展したほか、「小学生のための『ASIMO先生のなるほどエネルギースクール』」を開催しました。

本イベントでは、本田技研工業株式会社が開発した二足歩行ロボット「ASIMO」がエネルギーの先生役として登場し、ASIMOも電気エネルギーで動いていることを紹介しながら、デモンストレーションや環境・エネルギーをテーマとしたクイズショーなどを実施しました。



▲ASIMO先生と一緒に、環境やエネルギーについて楽しく学びました。

ふれあい

石巻市の夏祭り(石巻川開き祭り, 牡鹿鯨まつり)に発電所員も参加しました。

8月1日(金)、2日(土)の両日、石巻市において「石巻川開き祭り」が開催され、当社からも「孫兵衛船競漕」「大漁踊り」などに社員が参加しました。

2日に開催された「大漁踊り」には、当発電所・石巻営業所を始め、東北電力企業グループ総勢約200名が参加し、祭りのフィナーレを飾る大漁踊りを盛り上げました。

また、8月3日(日)には、石巻市鮎川にて「牡鹿鯨まつり」が開催され、当発電所では麦茶と風船のサービスを行いました。

当発電所はこれからも地域の活性化に貢献できるよう努力するとともに、地域の皆さまとのふれあいを大切にしていまいります。



▲東北電力グループをあげて石巻川開き祭りの大漁踊りに参加いたしました。



▲牡鹿鯨まつりでは、来場者の皆さまに麦茶と風船のサービスを行いました。

【発電所の運転状況(8月末現在)】

号機	運転状況	主な動き
1号機	定期検査中	第18回定期検査中です
2号機	運転中	順調に運転しています
3号機	運転中	順調に運転しています

お知らせ

女川原子力PRセンターキャラクターを使用したお菓子「ごろたんパイ」が発売になりました。

女川町のマリンパル女川事業協同組合では、8月1日（金）より、当社女川原子力PRセンターのキャラクター「ダンゴウオのごろたん」のイラストを商品パッケージに使用した「ごろたんパイ」の販売を開始しました。

本キャラクターは、平成18年6月に同PRセンターへの来館者数が100万人を達成したことを記念し、女川湾に生息するダンゴウオをモデルに「大切にしようネ！きれいな海と小さな命」の願いをこめて制作したものです。

本商品は、マリンパル女川事業協同組合が地域活性化のきっかけとなるよう企画し、このほど販売に至ったものです。

ごろたんパイは6個入り1500円（消費税込み）で、マリンパル女川や女川町内宿泊施設売店にて販売されております。

【商品に関するお問い合わせ】

マリンパル女川事業協同組合
宮城県牡鹿郡女川町鷲神浜字鷲神230
電話（代表）0225-54-4714

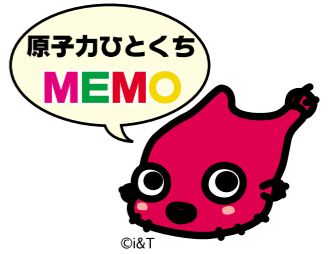


▲「ごろたんパイ」はマリンパル女川などで販売されています。



▲女川原子力PRセンターのキャラクター「ごろたん」

* 放射能を閉じ込める5重の壁 *



原子力発電所の安全を守るために最も重要なことは、発電所周辺環境への放射性物質の異常な放出を防止することです。このため、原子力発電所は5重の壁を設け、厳重に放射性物質を閉じ込めています。

- 第1の壁：ペレット（ウラン燃料を焼き固めたもの）
- 第2の壁：被覆管（ペレットを被覆管に入れて密封）
- 第3の壁：原子炉圧力容器（厚さ約140ミリの低合金鋼製の気密容器）
- 第4の壁：原子炉格納容器（原子炉圧力容器を納める厚さ約30ミリの鋼鉄製の気密容器）
- 第5の壁：原子炉建屋（厚いコンクリートの壁で放射性物質の放出を防ぐ）

